

募集要項から見る外国人留学生入試方法の分析と「外国学歴・資格評価」(Foreign Credential Evaluation: FCE)の可能性について

—学士課程における「英語プログラム」を中心に—

翁 文静, 立脇 洋介 (九州大学), 宮本 友弘 (東北大学) ¹⁾

本稿は日本における「外国学歴・資格評価」(Foreign Credential Evaluation: FCE)の可能性と必要性を探るため、「英語プログラム」を実施している32大学計78の選抜形態を対象に、その実態を調べた。その結果、(1)大学独自の学力試験を課す選抜形態は少なかった。(2)英語試験スコアの提出と基準点の設定を組み合わせた選抜形態がほとんどであった。(3)各国の79種類の学力試験のうち、19種類が多く活用され、基準スコアが設定されず、提出のみという活用方法が多かった。

1 初めに

「留学生30万人計画」の基本的な考え方や施策の方向性をまとめた、「『留学生30万計画』骨子」が2008年に策定されてから14年が経過した。同骨子に対しては策定当初より、「外国学歴・資格評価」(Foreign Credential Evaluation, 以下FCE)について全く触れていない(太田, 2008)ことが指摘されている。FCEとは、「外国で発行された学業成績証明書, 学位・卒業証明書, 各種資格証明書等について, その所持者を受入れようとする国の大学や評価機関において, 当該国の教育制度や資格制度の下では, どの段階や評定(学業成績の場合)にあたるか(接続性), あるいはどの資格と同等であるか(同等性)を評価することである」(太田, 2008)と定義される。FCEは, 留学生の量的拡大と多様化, 質的向上において重要な役割を果たし, また, 海外の高度人材の学歴や資格に関する評価プロセスが向上することにより, 日本社会(就学・就職)へのスムーズな接続を促す効果もあるとされる(太田, 2008)。この点について, 芦沢ほか(2013)は, 欧米においては, 歴史的に留学生や移民を多く受け入れてきたこともあり, また, 大学入学者選抜では書類審査が主な選抜方法であることから, FCEの役割が重視され, 発展してきたと述べている。一方, 日本においては, FCEの認識・手法が根付いておらず, FCEを実施する公的機関は存在せず, 歴史的に見ても, 大学がFCEを専門の外部機関に委託するなどの措置が取られていないと指摘している。

では, 日本の大学は, 留学生を受け入れる際に, 外国で取得した資格や学歴などをどのように扱っているのか。そもそも, 日本におけるFCEの確立の可能性

と必要性はあるのか。これらの問いに答えるためには, まず, 日本の大学における外国人留学生選抜の実態を明らかにする必要がある。その一環として, 筆者ら(翁ほか, 2022)は, 239の募集単位が実施する私費外国人留学生選抜(4月入学)を対象に中国の学籍・学歴などの活用現状を調査した(後述)。その継続として, 本稿では, 欧米の大学入学者選抜の形態に最も近い英語による学位取得が可能なプログラム(以下「英語プログラム」)に着目し, 「英語プログラム」の選抜の実態を明らかにした上で, FCEの可能性と必要性について考察したい。

なお, 本稿で用いる「英語プログラム」は, 嶋内(2012), 堀内(2016)の定義を参考にし, 入学・卒業要件としての日本語能力や日本語による授業の履修義務がなく, 英語による授業科目で履修し, 学士学位取得が可能なプログラムと定義する。

2 先行研究

ここでは, 日本におけるFCEの実施実態に関する研究調査と報告書を3つ紹介する。

芦沢ほか(2013)はグローバル30以前の日本のFCEは, 「証明書の真偽性の確認」及び「修学年数の確認」に集中し, 「出願(受験)資格有無の確認」が大学(学部と研究科を含む)の主な目的であることを明らかにした。

独立行政法人大学評価・学位授与機構が, 2014年に, 全大学に対し, 実態調査を行ない, 高校卒業資格や修学年数などの出願資格の有無判断が多いこと, 諸外国の成績評価を合否判定の対象外とする回答の割合が高いこと, 第三者機関から情報提供のニーズが高い

ことなどが示唆された（大学評価・学位授与機構、2016）。

翁ほか（2022）は 239 の募集単位が実施する私費外国人留学生選抜（4 月入学）を対象に中国の学籍・学歴などの活用現状を調べた。その結果、1 割の 23 の募集単位で、中国の大学入学試験の成績を活用し、また、これらの募集単位で「卒業（修了）証明書、卒業（修了）見込証明書」の提出が課され、原本を求めものが最も多かったことなどがわかった。

先行研究から、日本の大学は出願資格の有無判断が最も多く行われており、諸外国の成績評価を合否判定の対象とすることがそれほど行われていないことなどが確認できた。しかし、翁ほか（2022）を除いて、調査の対象は学部と大学院、日本語による入試と「英語プログラム」が混在しており、入試形態とそれぞれの特徴や背景については考慮されていない。そのため、どの入試がどのように行われているのか、どの側面において、FCE が最も必要とされるか、という正確な情報を得られていない。そこで、本稿は「英語プログラム」に限定し、特に各国の学力試験の方法に注目しながら選抜形態の実態を明らかにした上で、FCE の可能性と必要性について論じる。

3 調査方法

既存の英語プログラムをまとめたリストを参考にし、各大学の公開する最新年度である 2022 年度の募集要項などを調査対象とする。使用した 3 つのリストは下記の通りである。

(1) 文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室の「大学における教育内容等の改革状況について（令和元年度）」に掲載されている「『英語による授業』のみで卒業できる（学科等がある）学部（45 大学 90 学部）」

(2) 日本学生支援機構（JASSO）の「University Degree Courses Offered in English」（51 大学 100 学部）

(3) アジア学生文化協会とベネッセコーポレーションが共同運営するウェブサイト「JAPAN STUDY SUPPORT」に掲載されている「英語で学べる大学（一覧）」（17 大学 36 学部）

これらのリストに掲載されている大学のうち、32 大学が公開している 52 の募集要項を収集した。収集した募集要項の記載事項から、以下の 3 つの項目について調べた。

①選抜資料：合否判定にかかわる選抜資料として何を課しているか。

②英語試験の活用状況：出願要件として、TOEIC や TOEFL などの各種英語試験がスコア提出の「対象」か「対象外」かについて調べた。対象となっていた場合には、「基準スコア」があるか、「その他（任意・個別相談）」の活用方法かも調べた。

③各国の学力試験の活用状況：出願要件として、ACT や IB などの各国の学力試験がスコア提出の「対象」か「対象外」かについて調べた。対象となっていた場合には、「基準スコア」や「教科指定」があるか、「その他（任意・個別相談）」の活用方法かも調べた。

英語プログラムの数え方については、募集要項を精査し、1 つの大学で同様の選抜方法を採用しているものは 1 つの選抜形態としてカウントした。結果、大学数は 32 校、募集要項数は 52、選抜形態数は 78 である。なお、同一大学であっても、選抜方法に相違が見られるため、大学については考慮せず、78 の選抜形態を分析対象とした。

4 結果と考察

4.1 選抜資料

選抜資料の結果は下記の通り（表 1）であった。合否判定にかかわる選抜資料は、書類、面接、大学による学力試験、エッセイ、出身校概要、推薦書、英語試験スコア、学力試験スコア、の 8 種類がみられた。

全 78 の選抜形態が英語試験スコアと学力試験スコアを課していた。次に利用されたのが書類（98.7%）、小論文（84.6%）、面接と推薦書（それぞれ 61.5%）であった。一方、大学による学力試験と出身校概要の利用率はいずれもわずか 12.8%であった。

「英語プログラム」における選抜資料の特徴については、「私費外国人留学生入試（4 月入学）」と比較し、浮き彫りにしたい。翁・立脇（2021）は、各国立大学が公開した 2020 年度の「私費外国人留学生選抜（4 月入学）」の募集要項を調べた結果、ほぼ全ての募集単位で EJU が利用されていた。さらに 9 割が面接を課し、半数が大学独自の学力試験を課していたと報告している。両者の大きな違いは「私費外国人留学生選抜（4 月入学）」においては、大学独自の学力試験が多く利用されていたが、「英語プログラム」では、その利用率が低かったことである。代わりに、「英語プログラム」において出願者の学力を判断する主な材料は、英語試験と各国の学力試験である。英語試験と各国の学力試験の利用状況については、4.2 及び 4.3 で分析・考察する。

表1 英語プログラム入学者選抜の選考概要

	課す			不明	課さない
	必須	その他 (注2)	計		
書類	98.7%	0.0%	98.7%	1.3%	0.0%
面接	61.5%	14.1%	75.6%	0.0%	24.4%
大学による学力試験	12.8%	0.0%	12.8%	0.0%	87.2%
小論文(注1)	84.6%	0.0%	84.6%	0.0%	15.4%
出身校概要	12.8%	2.6%	15.4%	0.0%	84.6%
推薦書	61.5%	1.3%	62.8%	0.0%	37.2%
英語試験スコア	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
学力試験スコア	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

注1：一定の分量を書かせる課題であり，学力を問うものから志望動機までのものがある。

注2：その他としては「オプション」「必要に応じて実施」がある。

4.2 英語試験の活用状況

全 78 選抜形態で計 44 種類の英語試験が対象となっており，各選抜形態で平均 7 種類を対象としていた(表 2)。IELTS Academic Module と TOEFL iBT の 2 種類の英語試験は，特に活用が集中していた(それぞれ 98.7%)。次に多く対象とされていたのは TOEFL iBT Special Home Edition and Home Edition (61.5%) であった。残りの 41 種類の英語試験を対象としていたのは，40%以下であった。

スコアを提出する場合，大半で基準スコアが設定されていた。つまり英語試験は，スコアの提出と基準点の設定を組み合わせた選抜形態がほとんどであることがわかった。

大学からみれば，どの種類の英語試験でも英語という語学の共通の能力を測ることが可能である。さらに，CEFR のような対照表や換算がある。そのため，異なる英語試験でも，同じ基準で評価をすることが可能であり，ほとんどの選抜形態が英語試験スコアの提出と基準点の設定を組み合わせたと考えられる。

4.3 各国の学力試験の活用状況

全 78 選抜形態が計 79 種類の学力試験を課しており，各選抜形態で平均 19 種類が利用された(表 3)。50%以上の学力試験は 7 種類であった。EJU を除く 6 種類の学力試験は世界的に利用頻度が高い欧米の試験であった。また，20%から 50%までの学力試験は全部で 12 種類であった。これらの学力試験はほとんど日本と同じアジアにある国と地域のものであった。

基準スコアを見てみると，ほとんどの学力試験で基準スコアが設定されていなかった。一方，教科指定に関して，IB, GCE A/AS level, EJU では 40%以上で指定されていた。

上記の結果をまとめると，「英語プログラム」においては，課された学力試験は 19 種類に集中しており，一部で教科指定がなされているものの，基準スコアはほとんど設定されていないことがわかった。

大学からみれば，CEFR のような対照表のある英語試験と異なり，学力試験は換算表・基準がないため，各国の学力試験を単純に比較，換算することができず，やむを得ず学力試験(基準スコアを設定せず)だけを求めていたと推測できる。各大学が数多く(平均 19 種類)の学力試験を対象としていたにもかかわらず，それぞれの学力試験の換算表・基準がないため，判断に難しい状況であると推測できる。

5 まとめ

英語プログラムの選抜形態の実態を調べた結果，大学独自の学力試験の代わりに，英語試験と各国の学力試験のスコアを提出していた。英語試験は基準点が設定されていたものの，学力試験は換算表等がないため，スコアの提出のみにとどまっていた。

しかし，FCE が確立されれば，専門的な組織でまとめたデータが蓄積でき，各国の学力試験の結果を正確に評価，換算する共通尺度が作れる。各大学が異なる出身国の出願者をより正確に比較することができるだけでなく，多様な学生が自国の大学入学試験を用いて，出願することも期待できる。

本稿は「英語プログラム」の募集要項の分析結果から，各国の学力試験においては，FCE の可能性と必要性があることについて考察した。また，当事者視点から「英語プログラム」の選抜を検証することを今後の課題にしたい。

表2 英語プログラム入学者選抜における英語試験の活用状況

試験名	対象				対象外
	スコア提出	(うち基準スコア)	その他(任意・相談)	計	
IELTS (Academic Module)	98.7%	(75.6%)	0.0%	98.7%	1.3%
TOEFL iBT	98.7%	(75.6%)	0.0%	98.7%	1.3%
TOEFL iBT Special Home Edition and Home Edition	61.5%	(30.8%)	0.0%	61.5%	38.5%
TOEIC Listening&Reading	35.9%	(24.4%)	0.0%	35.9%	64.1%
Cambridge English (CAE, CPE)	33.3%	(32.1%)	0.0%	33.3%	66.7%
Duolingo English Test	25.6%	(23.1%)	0.0%	25.6%	74.4%
IELTS Indicator	23.1%	(10.3%)	0.0%	23.1%	76.9%
ACT	19.2%	(17.9%)	1.3%	20.5%	79.5%
IB English	19.2%	(16.7%)	1.3%	20.5%	79.5%
SAT	19.2%	(17.9%)	1.3%	20.5%	79.5%
Pearson English Language Test (PTE Academic)	19.2%	(19.2%)	0.0%	19.2%	80.8%
EIKEN STEP/EIKEN CBT/EIKEN S-CBT/EIKEN S-Interview	17.9%	(12.8%)	0.0%	17.9%	82.1%
GCE A/AS level English	16.7%	(15.4%)	1.3%	17.9%	82.1%
TOEIC Speaking & Writing Tests	16.7%	(11.5%)	0.0%	16.7%	83.3%
AP	14.1%	(14.1%)	1.3%	15.4%	84.6%
Australian State or Territory High School Certificate* Examination- Grade 12 English	15.4%	(14.1%)	0.0%	15.4%	84.6%
Canadian Grade 12 courses	15.4%	(14.1%)	0.0%	15.4%	84.6%
European Baccalaureate (EP Diploma) English	15.4%	(14.1%)	0.0%	15.4%	84.6%
Hong Kong HKALE , HKDSE	15.4%	(15.4%)	0.0%	15.4%	84.6%
IGCSE/GCSE/GCE O-Level English	15.4%	(15.4%)	0.0%	15.4%	84.6%
TOEFL iBT Paper-delivered Test	15.4%	(14.1%)	0.0%	15.4%	84.6%
National Certificate of Educational Achievement (NCEA)	14.1%	(14.1%)	0.0%	14.1%	85.9%
Scottish Certificate of Education Standard and High Grade English (UK)	14.1%	(14.1%)	0.0%	14.1%	85.9%
Taiwan General English Proficiency Test (GEPT)	14.1%	(14.1%)	0.0%	14.1%	85.9%
Common European Framework of Reference for Languages: CEFR	12.8%	(12.8%)	0.0%	12.8%	87.2%
Examination for the Certificate of Proficiency in English (ECPE)	12.8%	(12.8%)	0.0%	12.8%	87.2%
Malaysian University English Test (MUET)	12.8%	(12.8%)	0.0%	12.8%	87.2%
SPM English Language 1119	12.8%	(12.8%)	0.0%	12.8%	87.2%
TEPS (Korea)	12.8%	(12.8%)	0.0%	12.8%	87.2%
GTEC CBT type/GTEC Advanced※ ※※GTEC official score certificate (4-skill version)	11.5%	(10.3%)	0.0%	11.5%	88.5%
TEAP	11.5%	(10.3%)	0.0%	11.5%	88.5%
TOEFL PBT	11.5%	(9.0%)	0.0%	11.5%	88.5%
TEAP CBT	10.3%	(9.0%)	0.0%	10.3%	89.7%
TOEFL ITP Plus for China Solution.	10.3%	(0.0%)	0.0%	10.3%	89.7%
Computer-delivered IELTS (CD IELTS)	5.1%	(3.8%)	0.0%	5.1%	94.9%
Cambridge ESOL Examinations	3.8%	(1.3%)	0.0%	3.8%	96.2%
GCSE(General Certificate of Secondary Education)	2.6%	(1.3%)	0.0%	2.6%	97.4%
India	1.3%	(1.3%)	0.0%	1.3%	98.7%
Irish Leaving Certificate Ordinary Level or High Level	1.3%	(1.3%)	0.0%	1.3%	98.7%
Kenya Certificate of Secondary Education (KCSE)	1.3%	(1.3%)	0.0%	1.3%	98.7%
Malaysia SPM O level English	1.3%	(1.3%)	0.0%	1.3%	98.7%
Philippines	1.3%	(1.3%)	0.0%	1.3%	98.7%
Trinity ISE Exams	1.3%	(1.3%)	0.0%	1.3%	98.7%
West African Examinations Council (WAEC) Senior School Certificate	1.3%	(1.3%)	0.0%	1.3%	98.7%

表3 英語プログラム入学者選抜における各国の学力試験の活用状況

試験名	国	対象					対象外
		スコア提出	(うち基準スコア)	(うち教科指定)	その他(任意・相談)	計	
IB	イングランド	89.7%	(1.3%)	(48.7%)	10.3%	100.0%	0.0%
GCE A/AS level	イングランド	83.3%	(1.3%)	(41.0%)	11.5%	94.9%	5.1%
Germany Abitur	ドイツ	76.9%	(2.6%)	(5.1%)	11.5%	88.5%	11.5%
ACT	アメリカ	67.9%	(1.3%)	(14.1%)	19.2%	87.2%	12.8%
France Baccalaureate	フランス	62.8%	(2.6%)	(3.8%)	24.4%	87.2%	12.8%
SAT Reasoning	アメリカ	61.5%	(1.3%)	(15.4%)	21.8%	83.3%	16.7%
EJU	日本	53.8%	(0.0%)	(41.0%)	7.7%	61.5%	38.5%
Korea CSAT	韓国	35.9%	(3.8%)	(7.7%)	23.1%	59.0%	41.0%
AP (Advanced Placement Tests)	アメリカ	35.9%	(0.0%)	(28.2%)	10.3%	46.2%	53.8%
China GAOKAO	中国	34.6%	(0.0%)	(5.1%)	23.1%	57.7%	42.3%
Taiwan GSAT	台湾	30.8%	(0.0%)	(10.3%)	23.1%	53.8%	46.2%
Malaysia STPM	マレーシア	30.8%	(2.6%)	(5.1%)	21.8%	52.6%	47.4%
Hong Kong HKALE, HKDSE	香港	28.2%	(2.6%)	(9.0%)	23.1%	51.3%	48.7%
Malaysia UEC	マレーシア	24.4%	(2.6%)	(5.1%)	21.8%	46.2%	53.8%
IAL	イングランド	24.4%	(0.0%)	(20.5%)	3.8%	28.2%	71.8%
SAT Subject	アメリカ	23.1%	(0.0%)	(14.1%)	7.7%	30.8%	69.2%
Singapore Singapore-Cambridge GCE (Advanced Level) Examination	シンガポール	21.8%	(2.6%)	(9.0%)	23.1%	44.9%	55.1%
Thailand O-net	タイ	21.8%	(0.0%)	(3.8%)	10.3%	32.1%	67.9%
New Zealand NCEA	ニュージーランド	21.8%	(15.4%)	(0.0%)	5.1%	26.9%	73.1%
Australia HSC	オーストラリア	19.2%	(2.6%)	(1.3%)	3.8%	23.1%	76.9%
Canada (National standardized test)	カナダ	17.9%	(2.6%)	(1.3%)	3.8%	21.8%	78.2%
Vietnam Vietnam National High School Graduation Examination	ベトナム	16.7%	(0.0%)	(3.8%)	21.8%	38.5%	61.5%
AP Minimum Requirement	アメリカ	16.7%	(16.7%)	(0.0%)	3.8%	20.5%	79.5%
Thailand GAT/PAT	タイ	12.8%	(0.0%)	(2.6%)	17.9%	30.8%	69.2%
GCE A/AS level Minimum Requirement	イングランド	12.8%	(12.8%)	(0.0%)	3.8%	16.7%	83.3%
Taiwan AST (Advanced Subjects Test)	台湾	12.8%	(0.0%)	(3.8%)	3.8%	16.7%	83.3%
India CBSE	インド	11.5%	(2.6%)	(2.6%)	21.8%	33.3%	66.7%
Vietnam University Enrolling Examination (UEE)	ベトナム	11.5%	(0.0%)	(2.6%)	16.7%	28.2%	71.8%
Indonesia National Examination	インドネシア	11.5%	(0.0%)	(0.0%)	10.3%	21.8%	78.2%
India CISCE	インド	11.5%	(0.0%)	(2.6%)	9.0%	20.5%	79.5%
India state examination boards	インド	10.3%	(0.0%)	(1.3%)	16.7%	26.9%	73.1%

注

1) 本論文の作成にあたって、第1著者は計画立案・データ収集ならびに本文の執筆を、第2、第3著者は全体監修・分析と考察を分担した。

参考文献

芦沢真吾 (2012). 「留学生受入れと高度人材獲得戦略—グローバル人材育成のための戦略的課題とは—」 ウェブマガジン『留学交流』87, 15-23.

芦沢真吾・太田浩・黒田千晴 (2013). 「第7章 日中韓における成績・学位・資格評価と地域的連携」 『アジアの高等教育ガバナンス』 勁草書房, 172-199.

大学評価・学位授与機構 (2016). 『学生移動(モビリティ)に伴い国内外の高等教育機関に必要とされる情報提供事業の在り方に関する調査(報告書)』

<https://niad.go.jp/wp/wp-content/uploads/2018/02/f001-1603-mobility.pdf> (2022年2月17日).

堀内喜代美 (2016). 「日本の学士課程における英語による学位プログラムの発展と可能性」 『国際教育』22, 35-54.

JAPAN STUDY SUPPORT (n.d.). 「英語で学べる大学（一覧）」

<https://www.jpss.jp/ja/> (2022年3月17日).

工藤和宏・上別府隆男・太田浩 (2014). 「第2章 日本の大学国際化と留学生政策の展開」 『日韓大学国際化と留学生政策の展開』日本私立大学協会 附置私学高等教育研究所, 13-52.

文部科学省 (2018). 「各資格・検定試験とのCEFRとの対照表」文部科学省

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/03/_icsFiles/afeldfile/2019/01/15/1402610_1.pdf (2022年3月16日).

日本学生支援機構 (2021年5月). 「University Degree Courses Offered in English」

https://www.studyinjapan.go.jp/en/_mt/2021/07/Degree_courses_in_english_2021.pdf (2022年3月17日).

太田浩 (2008). 「外国成績・資格評価 (Foreign Credential Evaluation) システムと留学生の入学審」, 『留学交流』20(8), 2-5.

翁文静・立脇洋介 (2021). 「募集要項から見る留学生受け入れの現状—国立大学4月入試を中心に—」 『大学入試研究ジャーナル』31, 105-110.

翁文静・立脇洋介・宮本友弘 (2022). 「日本の大学入試における「外国学歴・資格評価 (Foreign Credential Evaluation: FCE)」についての一考察—中国からの学士課程の志願者を中心に—」 『東北大学高度教養教育・学生支援機構紀要』8

嶋内佐絵 (2012). 「日本における高等教育の国際化と「英語プログラム」に関する研究」, 『国際教育』18(0), 1-17.

付表：活用率の低かった学力試験

試験名	国
Cambridge Pre-U	イングランド
India Senior Secondary Examination (AISSE)	インド
SAT Reasoning Minimum Requirement	アメリカ
SAT Subject Minimum Requirement	アメリカ
Malaysia PSPM	マレーシア
Myanmar Matriculation Examination	ミャンマー
ACT Minimum Requirement	アメリカ
IAL Minimum Requirement	イングランド
Egypt Thanawiya Amma Examination	エジプト
IB Minimum Requirement	イングランド
Cambridge Pre-U Minimum Requirement	イングランド
EJU Minimum Requirement	日本
China Huikao	中国
Nepal HSEB	ネパール
Malaysia MMP	マレーシア
ACT Plus Writing	アメリカ
大学入学共通テストまたは大学入試センター試験	日本
European Baccalaureate (EB)	ヨーロッパ人
Higher Secondary School Certificate (HSC/HSSC) in Bangladesh, India, and Pakistan	バングラデシュ, インド, パキスタン
Indonesia STTB - SMA	インドネシア語
Poland (Polish Matura / Swiadectwo Dojrzalosci A)	ポーランド
Singapore NUS High School Diploma	シンガポール
Sri Lanka A-level	スリランカ
GCSE (General Certificate of Secondary Education)	イングランド
Bangladesh (HSC)	バングラデシュ
Brazil Exame Nacional do Ensino Médio	ブラジル
Cambridge Assessment International Examinations (CAIE)	イングランド
Cambridge AICE Diploma	イングランド
Singapore/Cambridge GCE O-level	シンガポール
India ISC	インド
Indonesia SKHUN (Certificate of Graduation)	インドネシア
Indonesia SBMPTN (Seleksi Bersama Masuk Perguruan Tinggi Negeri)	インドネシア
Irish Leaving Certificate (ILC)	アイルランド
Kenya Certificate of Secondary Education (KCSE)	ケニア
Malaysia 馬來西亜華文獨立中學高中統一考試 (Unified Examination, Senior Middle Level)	マレーシア
Nepal School Leaving Certificate Examination (SLC/SEE)	ネパール
Netherland VWO	オランダ
Philippines (A senior high school transcript showing completion of the 12th grade)	フィリピン
Russia Secondary (Complete) General Education	ロシア
Singapore Cambridge GCE O-level	シンガポール
Thailand Maw	タイ
Thailand Standardized National University Entrance Examination	タイ
Vietnam Tot Nghiep Pho Thong Trung Hoc	ベトナム
India ICSE	インド
Malaysia Pre-University Programs	マレーシア
Sri Lanka O-level	スリランカ
Mongolia University Entrance Examination (UEE)	モンゴル
South Afric National Senior Certificate	南アフリカ
Australian Capital Territory Senior Secondary Certificate (ACT SSC)	オーストラリア
Australia Northern Territory Certificate of Education and Training (NTCET)	オーストラリア
Australia Queensland Certificate of Education (QCE)	オーストラリア
Australia South Australian Certificate of Education (SACE)	オーストラリア
Australia Tasmanian Certificate of Education (TCE)	オーストラリア
Australia Victorian Certificate of Education (VCE)	オーストラリア
Australia Western Australian Certificate of Education (WACE)	オーストラリア
India Seleksi Penerimaan Mahasiswa Baru (PMB) 1	インド
Thailand Advanced National Educational Test (A-net)	タイ